

熊本県立天草高等学校 令和7年度(2025年度)学校評価計画表

1 学校教育目標
三綱領「正大・剛健・寛厚」のもと、求めて学び志を成す「地球(知究)市民」の育成を目指す。全日・定時・倉岳相互の連携を図りながら、しなやかで豊かな人間性の育成と、保護者・地域が信頼を寄せる学校づくりを推進する。

2 本年度の重点目標
(1)基礎学力定着と主体的な学び支援 (2)適応指導と生きる力育成 (3)キャリア教育の推進 (4)自己肯定感と協働性の育成 (5)健康と安全への行動力育成 (6)SDGs視点の生涯学習基盤づくり。(7)地域との連携 (8)生徒一人ひとりの心の教育の充実 (9)働き方改革の推進

3 自己評価総括表				
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策
大項目	小項目			
学校経営	・魅力ある学校づくり	・学校行事等の充実を図られたか。	・学校行事に参加する生徒の割合は、8割以上を目指す。	・行事内容の工夫・精選を図る。 ・生徒が参加しやすい環境の整備を図る。 ・生徒との対話・指導の充実を図る。
		・安心・安全な学習環境は確立できたか。	・生徒一人ひとりが安心して授業に参加できるように、日々の学習環境を整える。	・すべての職員が、生徒にとって信頼できる大人になれるように、授業改善に努め声かけなどを行う。
	・不祥事防止及び地域・保護者・生徒の信頼と期待に応える教育活動	・日頃の危機管理意識の向上及び実践はできたか。	・全日制・倉岳校の状況を参考にし、定期考査及び入試事務処理等の個人情報管理を徹底する。 ・不祥事を「0」にする。	・個人情報管理の共通理解事項について、職員研修等を実施・確認しながら全職員が共有する。 ・不祥事防止テキストを基に確実に実行する。
		・教育活動の公開は十分か。	・広報誌の発行する。 ・ホームページの充実を図る。 ・公開授業の実施する。	・「定時制新聞」を年5回発行する。 ・日々の学校行事や話題をホームページに掲載する。 ・振興会総会の際に、学校評価アンケートの結果を公開し、授業参観する。
	・学校改革	・校務改革は図られたか。	・勤務環境を改善し、協働体制を整え、業務の効率化に取り組む。 ・「学校DX化」に向け、ペーパーレス化を目指す。	・意見を出し合い課題を認識すると共に全職員で共有・改善する。 ・DX化に取り組むことで、職員の負担軽減を図り、各会議等の資料はデジタル化しクロームブック活用などの定着を図る。
		・授業改革は図られたか。	・新学習指導要領施行をふまえて、理解力や特性に応じて、より質の高い教育を提供する。	・授業と評価の一体化を意識して、効果的な指導のあり方や教材研究、生徒理解に取り組み、授業と評価の改善を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善及び働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務超過時間の短縮は図られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務時間外在校時間を年間平均月15時間以内ににする。 ・年間15日以上の年休取得を、目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労安懇話会を通じて、常に職員の勤務時間をチェックし、呼びかける。 ・長期休業中の年休取得しやすい行事日程を計画する。夏季休業中の学校閉庁日（4日間）を設ける。併せて、時間外勤務時間が長い職員には、個別に助言等を行う。
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習する習慣・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業参加は図られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのUD化を取り入れた、分かる授業を提供する。授業でのやり取りなどとおして、生徒との良好な関係を構築し、積極的な授業参加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席の多い生徒については職員間で情報を共有する。SCやSSW、市役所などの行政、ハローワーク等の関係機関と連携を図り、様々な支援のあり方について検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立は図られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時のプリント教材や基礎学力向上のための課題の進捗状況や提出状況を確認することで、時期に応じた学習を意識づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時のプリント教材や基礎学力向上のための課題などは、時期を定めて回収・点検する。学習の進捗状況を振り返らせて、学びを調整するように促す。必要に応じて始業前に上級学校進学のための課外や個別の補充的な学習を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上や授業充実に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価の実施及び結果の活用はできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価アンケートを年1回実施し、検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートの結果をもとに、教師同士がアドバイスしあえる場面や仕組みを調整する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の充実は図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の実情に応じた研究授業のあり方を検討し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部で企画、日程調整を行い、研究授業、合評会を充実させる。
キャリア教育 (進路指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力・適性に応じた就職・進学指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力を伸ばする取組と適性に応じた就職・進学指導ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの生徒とのコミュニケーションを欠かさず、個別のニーズに応じて進学・就職準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が見通しを持てるよう、情報を提供する。 ・生徒のペースに寄り添った進路学習の支援を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な資質を身に付け働く意義を知る取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般を通じて、自らの役割を果たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般を通じて、自らの役割を果たせるように役割の大小を問わず、一人一役を働きかける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観・職業観の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア意識の醸成は図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就労の生徒にはインターンシップ参加を勧める。 ・就労中の生徒には声を掛け、仕事と自らの関係の振り返りを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップや就労中の仕事を通じ、振り返りや問題の解決を通して望ましい勤労観や職業観を育成する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立を図り、学校生活への適応を促 	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の醸成は図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に楽しく登校できる環境作りを行い、遅刻・欠席を前年 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ホームルームで毎日声かけを行う。 ・各行事において生徒

	進		度の数字より減少させる。 ・生徒が互いに周囲の生徒とコミュニケーションを構築し、楽しい学校生活が送れるよう行事等を工夫する。 ・SNS等を正しく使用できるようにする。	間の会話の機会を増やす取り組みをする。 ・SNSの利用について全校集会等の機会を捉え、正しい使い方を指導する。
		・生徒理解のための取り組みは十分か。	・毎月「生徒連絡会」を実施し、全職員が生徒の実態を把握し、共通理解を図り、指導に役立てる。	・毎月、各担任が生徒一人ひとりの職場・学習・生活の状況について報告し、全職員で情報を共有し、対応策を話し合い、実践する。
	・年間を通した問題行動の未然防止	・問題行動の未然防止は図れたか。	・特別指導件数を「0」にする。 ・連絡会で気になった生徒については、担任・生徒指導部で早期に面談等を実施し、未然防止に努める。	・生徒理解に努め情報を共有し、職員の共通理解のうえ事前指導に重点を置き、早めに対応をしていく。 ・年間を通しての校内巡視を実施する。 ・生徒のわずかな変化も見逃さず機会を捉え指導する。
		・交通事故防止は図れたか。	・事故件数を「0」にする。	・長期休暇前や、全校生徒が集まる機会を捉え、注意喚起を行う。 ・交通安全教室を実施し交通事故防止に努める。
人権教育の推進	・生徒会活動及び学校行事の活性化	・生徒会の主体的な活動の支援はできたか。	・各種行事への生徒会の積極的な関与を促す。	・各種の行事における企画立案への助言を行う。
	・職員の人権感覚の向上	・職員研修の充実を図れたか。	・研修の機会を確保する。	・年4回の研修実施。
いじめの防止等	・「命を大切にすることを育む指導」の充実	・命を大切にすることを育む指導の充実が図られたか。	・人権教育LHRへの参加100%。	・個別に手立てを行う。 ・次につながる事後アンケートをとる。
	・いじめ防止基本方針に則った活動を遂行し、いじめのない学校づくりを推進する。	・いじめの未然防止が図られたか。 ・いじめの早期発見の取組が、図られたか。	・毎日の連絡会において、生徒の様子を報告し、未然防止に役立てる。 ・年3回アンケートを実施し、考査期間に全生徒の担任面談を実施する。	・連絡会において前日の様子を全職員で共通理解し、指導方針を決定する。 ・アンケート調査だけでなく生徒が安心して職員に相談できる人間関係の構築を行う。
特別支援教育	・インクルーシブ教育の観点を踏まえた、特別な支援を必要とする生徒への適切な対応	・生徒一人ひとりの実態把握に必要な支援の実施と、それを受けた評価、改善の実施ができたか。	・生徒連絡会で月に一度情報を共有し支援方法を検討、実践する。 ・学びのUD化の視点を取り入れた授業を行う。	・支援についての連絡会、研修、外部機関と連携した支援会議を毎学期行う。 ・新入生に関して、中学校または前籍校からの引き継ぎがある

			<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じて個別の支援計画、個別の指導計画等を作成し、実践する。 	生徒を中心に個別の支援計画等を、担任が作成する。 <ul style="list-style-type: none"> 教頭や特別支援コーディネーターを中心に個別の支援及び指導方法について全職員で共通理解を図りＳＣ・ＳＳＷと連携し支援体制を整える。
地域連携(コミュニティ・スクールなど)	<ul style="list-style-type: none"> 統合型コミュニティ・スクール 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の組織づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営の基本方針に係る教育活動の計画等に関する協議を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を年２回開催し、本校の教育活動について検討する。 本校の教育活動の現状を把握するため、在校生・保護者・本校職員への学校評価アンケートを実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> 高校間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて生徒が地域ボランティアや地域行事に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各方面からの参加の案内や地域広報などについて、「すぐる」を活用し、生徒に周知し、積極的な参加を呼び掛ける。
健康安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する意識の高揚と環境保全意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育等の充実を図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期及び適時の保健指導を実施する。個々の生徒の状況や季節に応じて、指導を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 年３回学期始めに生活習慣チェックを実施し、気になる生徒については個別に保健指導を行う。 月１回「保健だより」を発行する。 保健室前掲示板を活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の充実を図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養面を考えた上で、可能な限り生徒が希望する補食内容にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の要望を定期的に聴取し、予算の範囲内でパン・ジャム等の種類を変更する。
	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上と安全教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育の充実を図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 年２回のエコスクール週間を中心に、生徒の環境意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> エコチェックアンケートの実施と環境ＩＳＯ委員会による集計・検証・改善を行う。 入学式で新入生の花道を飾るための花の球根植えを行う。
		<ul style="list-style-type: none"> 安全教育等の充実を図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育、薬物乱用防止教室を実施する。 心肺蘇生法の講習会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部、保健体育部及び関係機関と連携を図りながら企画する。
		<ul style="list-style-type: none"> 体力・気力の向上は図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定通体育大会、マラソン大会等、体育行事に積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育部が中心となり生徒の健康状態を把握し、生徒一人ひとりに応じた計画的な指導を行う。

※評価項目の数・内容については、各学校の実態に合わせ自由に設定してください。
 (複数枚になってもかまいませんが、重要度の高いものに絞り、項目を整理して記入してください。)